

# せいしょう 青翔

第248号

◆ 青年部ニュース ◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 広報委員会

<http://kitaosaka-yeg.jp/>

青

翔

青

翔

## ～2020年度から2021年度にバトンを渡す～

**広報：**様々なきっかけがあり役に就かれたと思いますが、それぞれの立場から本年度、最も大変だった事をお聞かせください。



南條 範秀 会長

**南條会長(以下 南條)：**

本年度は、延期か中止か。そういった会長としての判断に非常に難しいところがありました。

**柿丸次年度筆頭副会長予定者(以下 柿丸)：**

決断を迫られる場面で南條会長が信念を曲げることなく、決める所をしっかりと決めてくださったと思います。

**広報：**信念を曲げないというお話があがりましたが、違った方向に行きそうになった時はどなたが南條さんにブレーキをかけるのですか？

**柿丸：**ブレーキをかけるって(笑)。会長にはブレーキがないですから...

私より加藤さんの出番ですかね！加藤さんは心配りがすごくあります。南條会長にはそれが...

**一同：**(笑)

**広報：**加藤次年度会長と南條会長の繋がりについて教えてください。

**南條：**もともと知り合いではなかったですし、接点はありませんでしたが、次年度の会長を依頼しました。

**加藤次年度会長予定者(以下 加藤)：**

私も全く知りませんでしたし、どうして次年度に私が、と思いましたが(笑)。

**広報：**加藤次年度会長と柿丸筆頭の繋がりについても聞かせていただけますか？

**加藤：**同期委員長なんですよ～(笑)

自分の次にバトンを渡すのにふさわしいのは誰か、筆頭副会長(副会長の中で次の会長筆頭候補)を受けてからずっとそういった目で色々な人を見ていました。



加藤 秀継 氏

**柿丸：**声をかけられたとき、来たなって思いました。ZKKが北大阪に決まったことでゴール設定がそこに定まっていたので、事前に準備して受けさせていただきました。

**広報：**これからのYEGを担う委員長へ一言お願いします。

**加藤：**委員会メンバーの1年間のYEGライフをお預かりする責任をしっかりと自覚し、皆さんのYEG活動が充実したものになるよう精一杯努めてくれるよう願います。

受けた役に対してどれだけ真剣に向き合っているのか近くで見えているからこそ、本音も建前もなく、こうして欲しい、これは辞めて欲しいといった事はありません。

自分のストライクゾーンを広げれば真剣に取り組んでいる姿を見せていただける。

会から離れるということだけは無いようにしていきたいです。

私たちは皆さんの精一杯を願っていますし、皆さん真剣に取り組んでくださっていると感じています。

<心>は繋がっていたいと思います。

**南條：**できないというのは簡単。どうやってやるかを模索するべき。

せっかく委員長が作った議案をどうしたらできるかを考えるのが会長。

やめておこう、ということをやるのがYEG。

**加藤：**例えば今年、こういったことが濃厚接触にあたるのか、そうでないとされるのか。

「こういう対策をすれば、濃厚接触に該当しないのではないか」ということを会長は熱心に調べていました。

**南條：**それを調べ、会の開催などの判断基準にしていましたが、それは会社にもまるまる当てはまりました。

**加藤：**不安もありましたが、ひそかにその辺りを調べていらっしやっただけで参加することにしました(笑)。

**柿丸：**会長は努力しているのを見せないのが、損している部分があると思います。

**広報：**次年度に期待することは？

**南條：**次年度にはぜひやりたい事やって欲しいですね。

今年はやりたい事がやれない世界情勢だったので、来年は模索しながら新しい世界観でやりたい事やって欲しいと思います。

そして、次年度は間違いのない素晴らしい方々にバトンを渡せます。

事業などの中で様々な経験ができるのが魅力であり、YEGでは失敗してもいいと思います。仮に自分の事業計画を作ったとして、20代と30代では違ってきます。

ある程度の年齢を重ねた時に、試行錯誤を重ねた結果を共有できる。

試さないといけないと思うと色々な事を考えるし、そこから新しい創造ができる。

次年度も、今までの議事録が役に立たない全く新たなゼロからのスタートの事案が多いと思います。

まさに今年のスローガン、「創造する」がぴったりです。

**柿丸：**私より加藤さん、加藤さんより南條さん。そういう流れがあるので、そういった足並みを揃えて1年間を務めたいです。

次年度は加藤さんの補佐をさせていただきながらその間に私は勉強させてもらって、私の年度には会員サービスや本会サービスを充実させるにはどうするか



柿丸 裕氏



を考えていきたいので、今の間に若い人の発想を聞いてそれを吸い上げていきたいです。今は南條さん、次年度は加藤さんのやり方について行きます。

**南條：**会員間の交流をより充実させたいです。そして会員サービスなどをさらに充実させていただきたい。

北大阪のこれだけのメンバーがいるのでそれをブランド化して、北大阪ブランド力を生かしたいです。

**広報：**会長・副会長の皆さんがどんな人なのかかわからず、話しかけることに気後れしてしまいがちですが、このやりとりを見て1人でも多くのメンバーに親近感を持っていただけたのではないかと思います。

「あの難しそうなお人、こんなに面白い人だったんだ！」とこの内容を見て知っていただける、そんな発信ができればと思います。

今回を持ちまして、2020年度広報委員会の青翔の役割は終了となります。次年度の皆さまへバトンを渡したいと思っています。

# 北大阪商工会議所 青年部 会員募集

商工会議所青年部【YEG】は  
次代の地域経済を担う  
若手経営者の集まりです。

ご興味のある方は  
こちらへ

